

# lake Lake Products Firmware Update Manual for PLM+ & D series

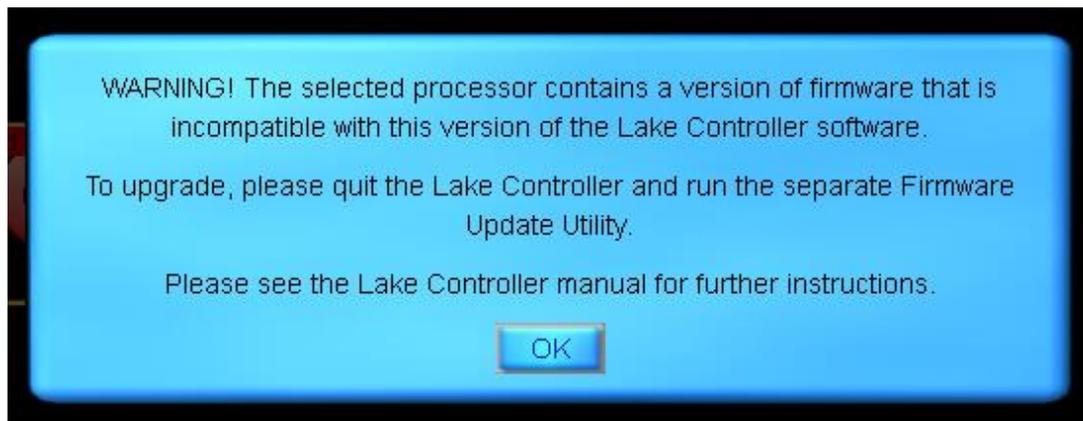


図1



図2

Lake Controllerを起動し、HOME画面のWork AreaにMODULEをドラッグした時、図1のメッセージボックスが表示された場合、Lake Product本体のFirmware versionと、お使いのLake Controller versionが一致していません。Lake ProductのFirmwareをUpdateする必要があります。

メッセージボックスの「OK」ボタンを押すと、Moduleが黄緑色と赤の点滅を繰り返す表示になります。(図2)

Version 6.5.0以降は、本体Firmware versionとLake ControllerのVersionが一致していないと接続出来ません。MODULEの上段に下記の様な表示が点滅します。

**OLD FIRM** Lake ControllerのVeriosnが新しく、本体のFirmwareが古いです。

**NEW FIRM** Lake ControllerのVeriosnが古く、本体のFirmwareが新しいです。

#### 【Lake ProductのUpdateの準備と注意点】

- ・ Lake Controllerを閉じて下さい。
- ・ **Updateは必ず1台ずつ行って下さい。**  
※複数台数を同時に行うと、稀にFirmwareを読みこぼす個体が出る事があります。読みこぼした場合には、修理が必要になる事がございます。



## Lake Updateの起動

Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」から、該当するversionのLake Controllerフォルダーを開きます。(図3)  
または、Programフォルダーの中にあるLakeフォルダーから、該当するversionのLake Controllerフォルダーを開きます。(図4)

✔ LakeUpdateをクリックして、Lake Updateを起動します。□

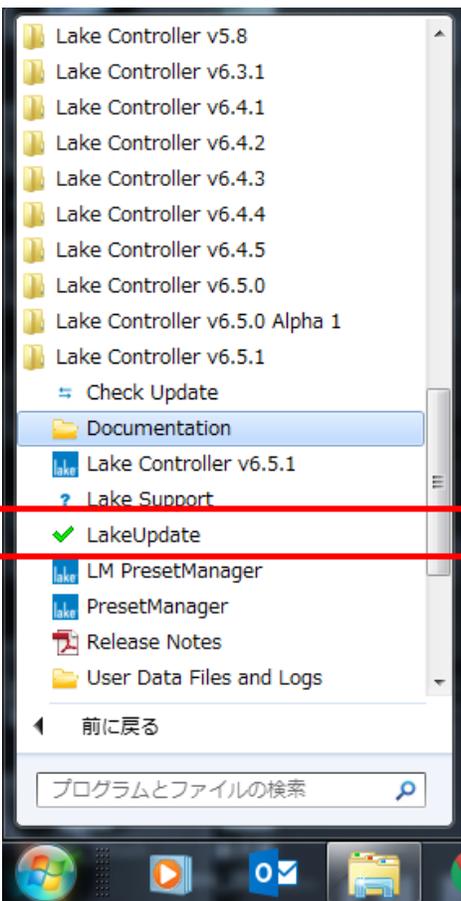


図3

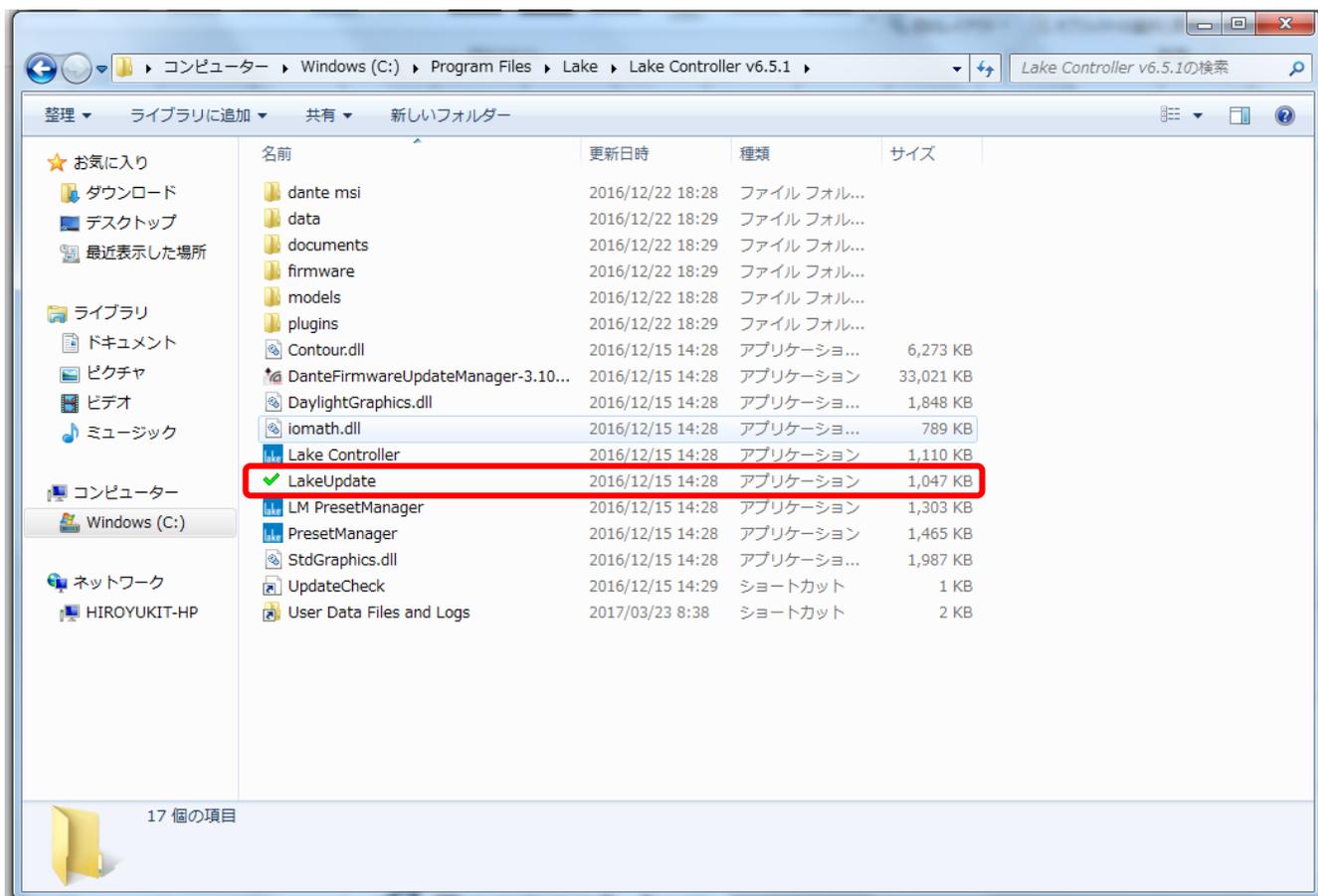


図4



図5

「Select platform to update」のMENUが表示されます。(図5)  
UpdateするLake ProductのSeriesをクリックします。

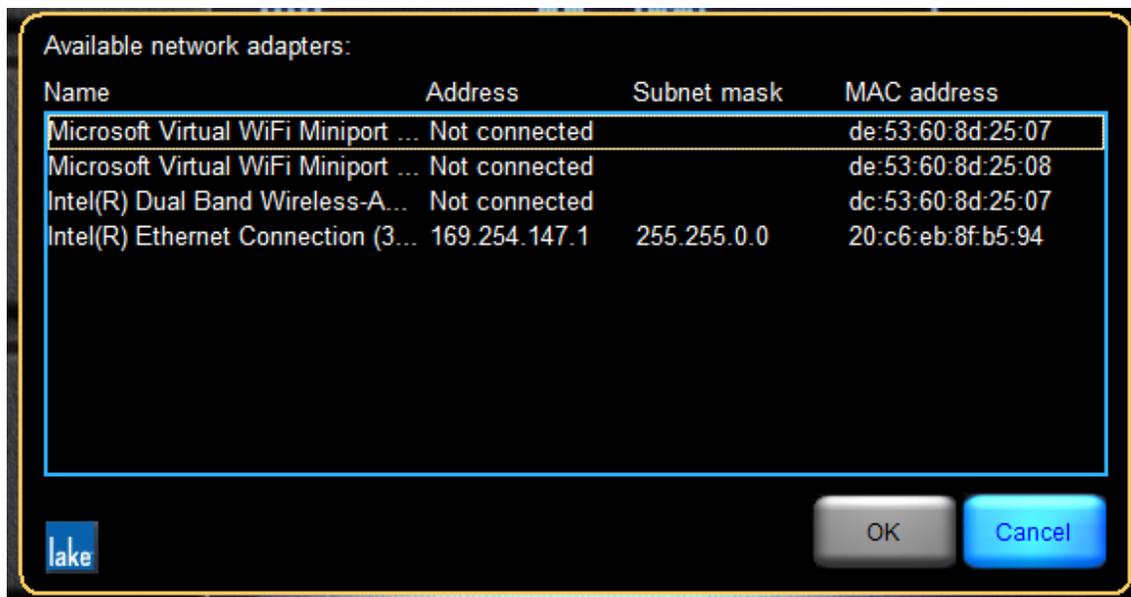


図6

「Available network adapters」の画面が表示されます。(図6)  
Lake Controllerで使われているNetworkを選択(図7)し、OKを押します。

- ・ デフォルト設定はAuto(DHCP)になっています。  
「169.254.×××.×」を選択します。
- ・ 固定アドレスを設定している場合には、「192.168.×××.×」を選択します。

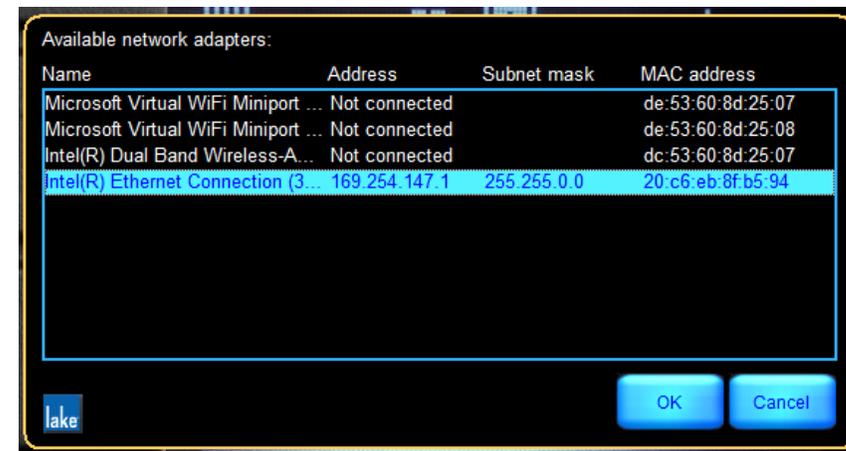


図7

# lake Lake Products Firmware Update Manual for PLM+ & D series

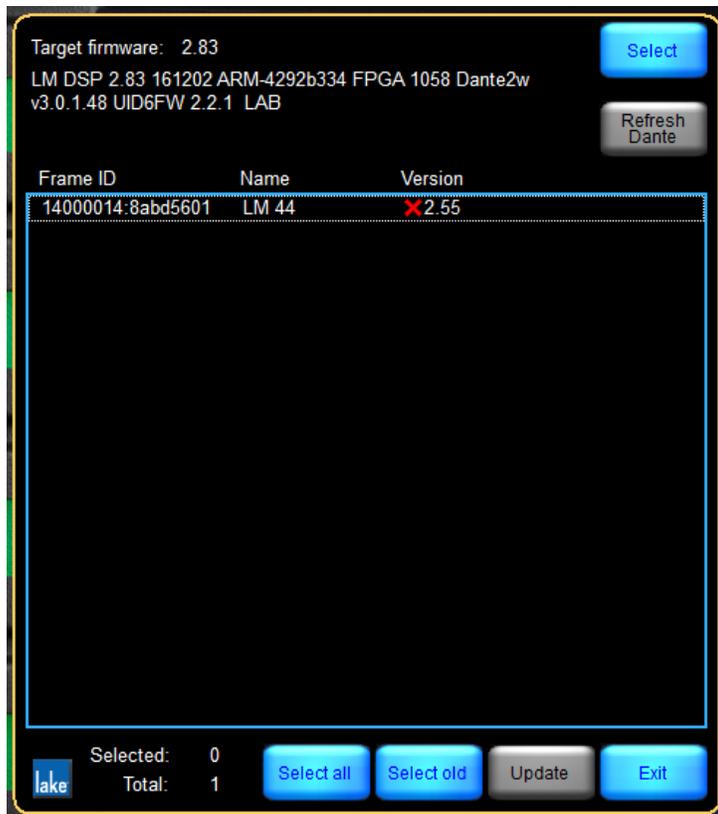


図8

ネットワークにつながれているLake Productが表示されます。(図8)  
この時、Versionの前に×が付いているLake Productが古いversionの表示、✓が付いているLake Productはversionが一致している事を表しています。

※Target firmwareは、該当するLake Controllerと一致するFirmware versionを表しています。  
Lake ProductによりVersion No.は異なりますので、詳細はRelease Noteをご覧ください。



図9

UpdateするLake Productを1台選択し、最下段にあるUpdateボタンをクリックします。 

- ・ Update中は、Lake ProductのACコードは抜かないで下さい。
  - ・ Updateは必ず1台ずつ行って下さい。
- ※複数台数を同時に行うと、稀にFirmwareを読みこぼす個体が出る事があります。  
読みこぼした場合には、修理が必要になる事がございます。



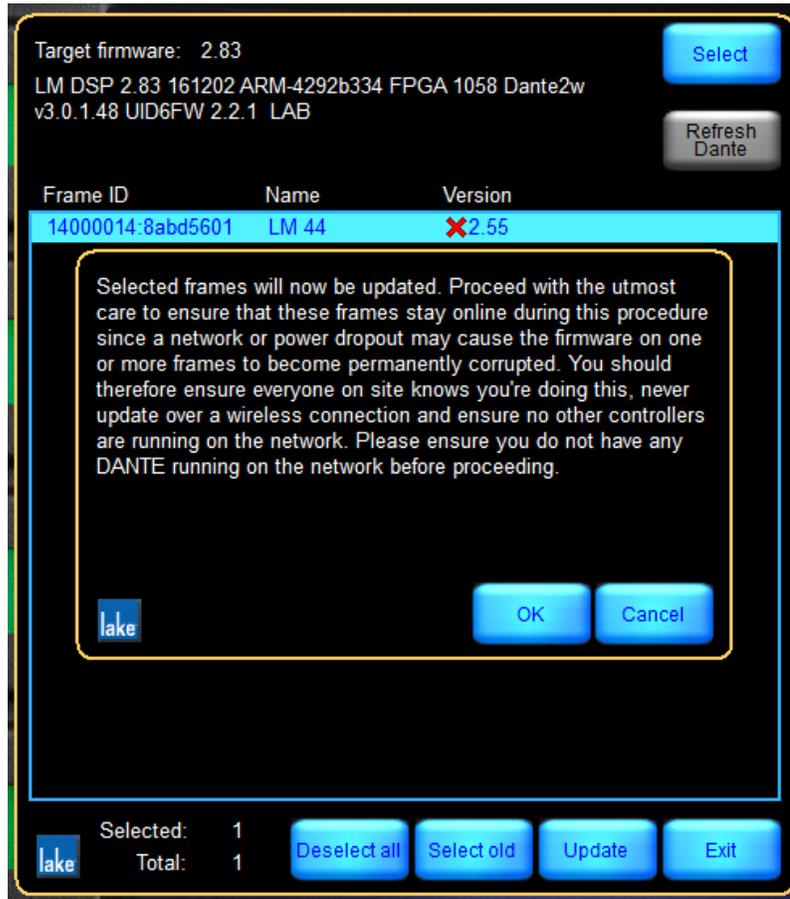


図10

表示されるメッセージ(図10)には、下記の注意点が書かれています。

：選択したフレーム(Lake Product)がUpdateされます。

Update中は、フレームがオンラインになっている必要がありますので、ネットワークが切断しない様に、注意し、また、他のワイヤレス・ネットワークが繋がらない様にして下さい。

同じネットワーク上にLake Controllerが起動していない事、DANTEネットワークとつながっていない事を確認して下さい。

- ・ Lake Controller v6.8.0.58以降ではDante Domain Managerに対応していますがアップデートしたいデバイスがDante Domain Managerに登録された状態ではアップデートが実行出来ません。  
Dante Domain Managerの登録を外した後に実行して下さい。

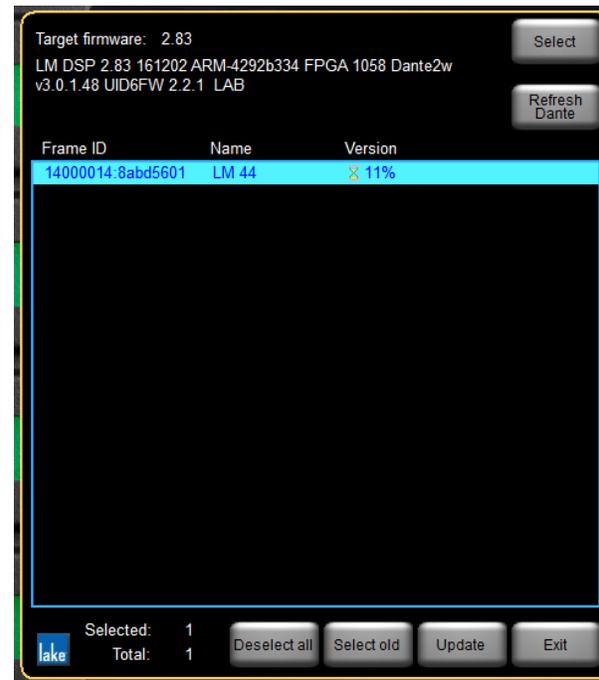


図11

「OK」をクリックすると、Updateがスタートします。  
「Version」の欄に進捗率が表示されます。(図11)

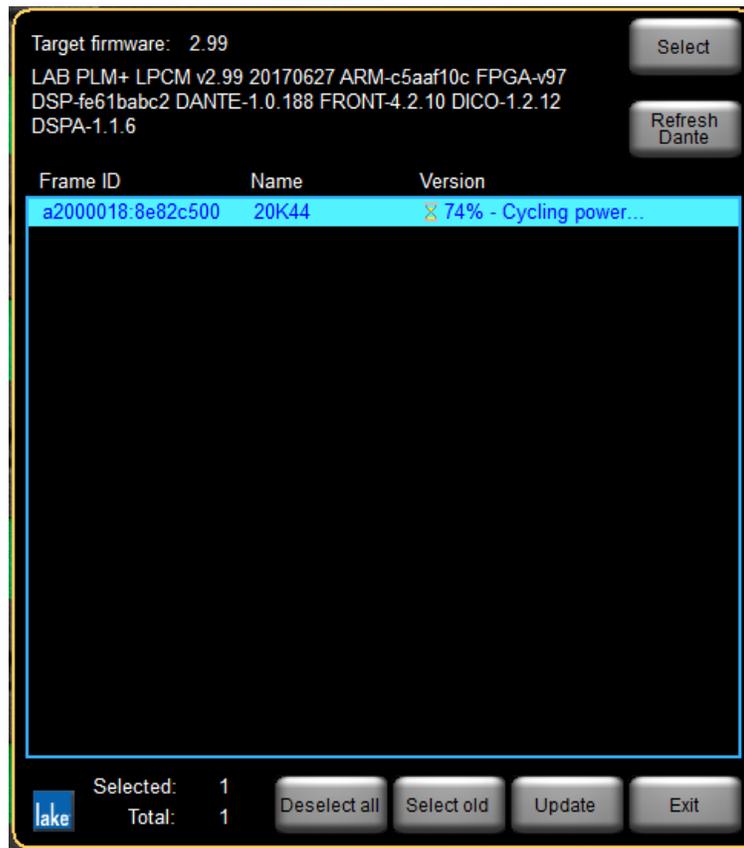


図12

このメッセージ(図12)が表示されましたら、Lake ProductへのFirmwareの流し込みが終了です。  
※Updateは、まだ終了ではありません。

この画面表示をしている時、主電源の再起動を自動(Auto)で実行中の表示です。  
PC上のUpdater及び、本体操作はしないで下さい。

- Version 6.5.0以降のPLM+シリーズとD/LakeシリーズのFirmware Updateでは、主電源の再起動を自動で実行するコマンドが追加されました。  
ACコードの抜き差しによる再起動の必要はありません。

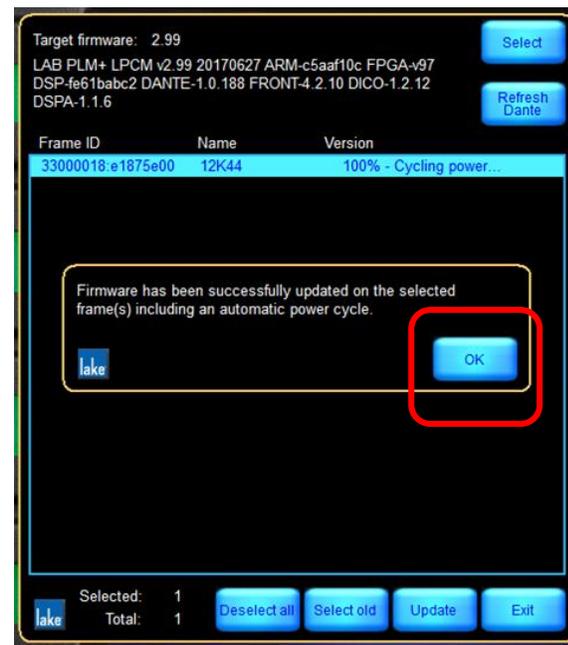


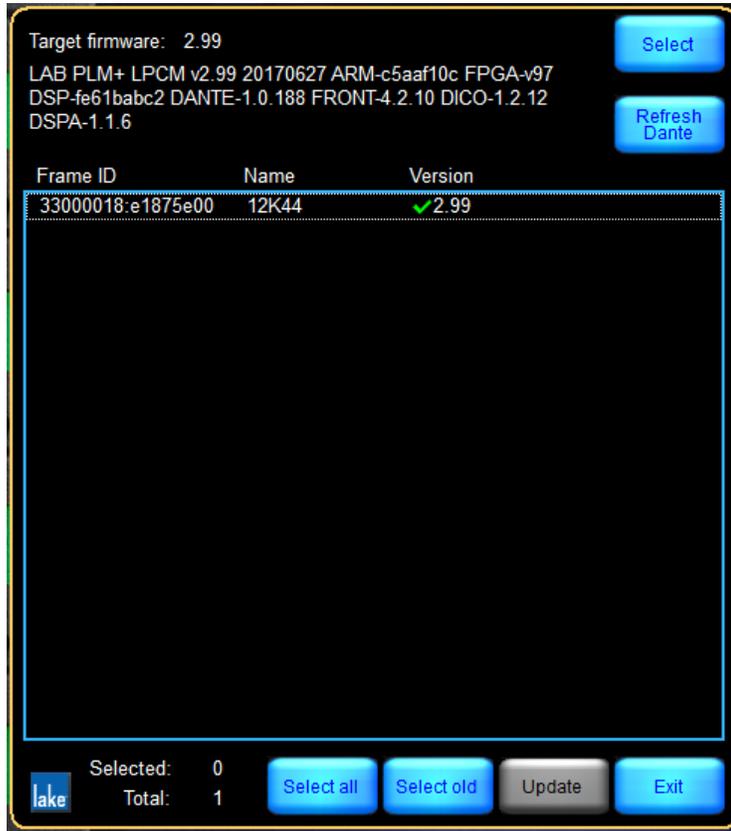
図13

このメッセージが表示されるとFirmwareの流し込みは正常に終了です。  
画面中央の「OK」ボタンを押して下さい。  
(図13)

メッセージ：Firmwareは選択したフレームに正常にダウンロードされ  
主電源の再起動も終了しました。

- Versionによっては、Lake Product本体への書込に時間を要する場合があります。  
また、Displayに進捗率を表示するVersionと表示しないVersionがあります。





一旦、選択したフレームの表示が消え、暫くするとLake Product本体がHome画面で表示されます。  
✓のチェックマークが付いたFirmware versionが表示された事を確認して「Lake Update」を閉じて下さい。(図14)

Lake Controllerを起動すると、通常のHOME画面が表示されます。(図15)



図14

図15

## Lake Update v.6.8.1からの新機能 (PLM+/Dシリーズ)

### PLM+/Dシリーズのデバイスの主電源On/Offのリモート

Lake Updateから手動で、PLM+/Dシリーズのデバイスの主電源On/Offがリモートできるようになりました。



1. 主電源のOn/Offをしたいデバイスを水色にハイライトし選択します。(図16)
2. 画面下の「Power Cycle」ボタンをクリックします。

- ・ Firmware UpdateでUpdateを実行した時には、PLM+/Dシリーズのデバイスは、自動的に主電源の再起動をします。このコマンドを使って主電源を再起動する必要はありません。
- ・ IP設定の変更後など、主電源の再起動が必要な場合の遠隔リモートにお使い頂けます。



図16

## Lake Controller v.6.5.0 - v.6.6.1でDante機能を使用する場合のUpdate手順 (PLM+/Dシリーズ)

- PLM+/DシリーズのDante機能に関するBrooklyn Hardwareのリビジョンが変更されました。(Rev.4)  
このため、Lake Controller v.6.5.0-v.6.6.1のインストーラーに含まれるFirmwareに直接ダウングレードしようとすると、LakeデバイスのFirmware versionとDante versionに不一致が生じ、ダウングレードに失敗します。下記の手順に従い、ダウングレードして下さい。



- 前頁までの手順に従い、Lake Update v.6.7.1.83以降を使い、Firmware v.3.32以降にUpdateして下さい。
- 下記の手順に従い、Lake Update v.6.7.1.83に含まれるFirmware v.2.99にダウングレードして下さい。

- Firmware Update画面右上隅の「Select」ボタンをクリックします。(図17)
- 表示されるポップアップ(図18)から、v.2.99を水色に選択し「OK」をクリックします。
- Firmware Update画面に戻った後、画面下の「Update」ボタンをクリックし、Firmware v.2.99にダウングレードします。

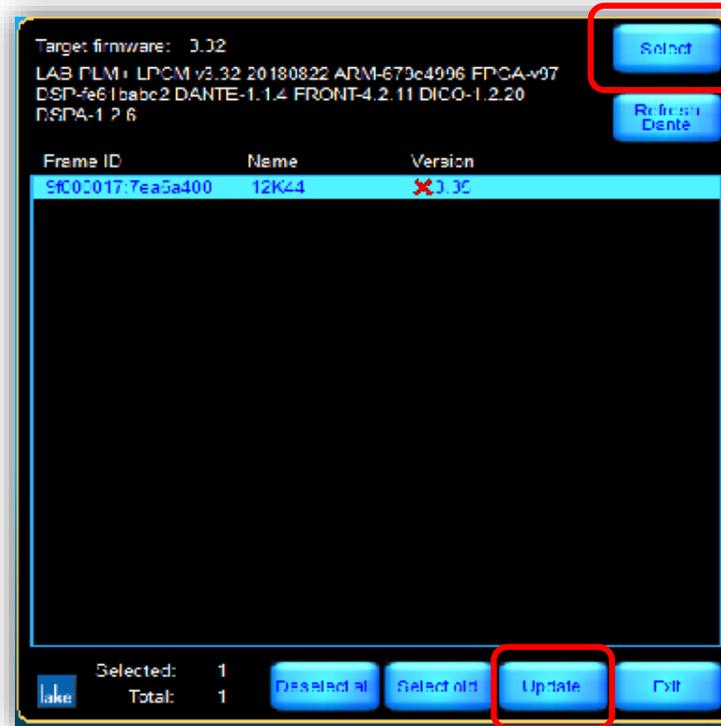


図17

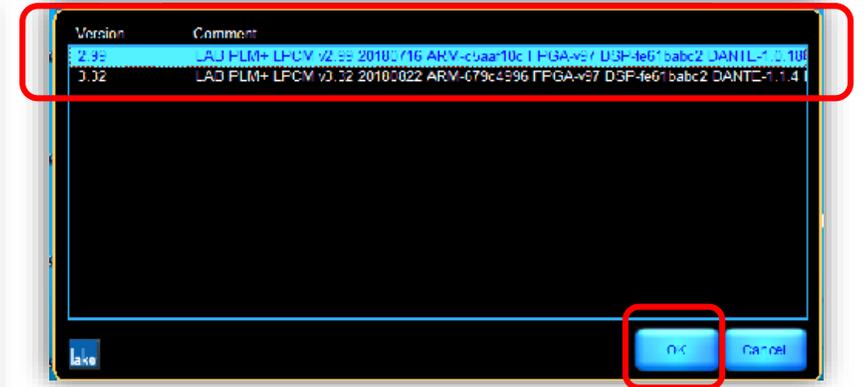


図18

- 上記のダウングレードの後、使用するLake Controller(v.6.5.0-v6.6.1)に付属するLake Updateを使い、FirmwareをUpdateして下さい。